

熊本の作家 7 三浦洋一展 YŌICHI MIURA EXHIBITION

熊本市現代美術館では、2012年に没した熊本ゆかりの洋画家・三浦洋一の作品を収蔵品の中からご紹介いたします。1916年、鹿本郡三岳村津留(現・山鹿市)に生まれた三浦は、九州医学専門学校在学中に油彩画を描き始めます。1940年に熊本医科大学に入局後は、いったん制作を中断しますが、同大学を34歳で退官後、制作を本格的に再開します。

親交のあった坂本善三を中心に「四元会」を発足させて研鑽を積み、1952年の第20回独立展に入選。その後、1958年に熊日総合美術展で熊日賞、1962年には、第30回独立展で独立賞を受賞しています。

本展では、坂本善三、海老原喜之助らに指導を仰ぐ中で表現を確立した火山などをモチーフとした初期作品、そして、70年代半ばから80年代に多く描かれた平面の上に還元する「青のシリーズ」や、またその後、青から離れて新たな色彩表現を追求していった時代の作品まで約10点を展示します。

熊本の文化振興にも長く尽力し、戦後の熊本の美術を見つめ、牽引してきた三浦の画業をどうぞご覧いただければ幸いです。
[熊本市現代美術館主任学芸員・坂本顕子]



水辺 1954年



白昼 1968年



原風景 1980年

三浦洋一 プロフィール YŌICHI MIURA PROFILE



- 1916年 鹿本郡三岳村津留(現・山鹿市)に生まれる。
- 1936年 九州医学専門学校(現・久留米大学医学部)に入学。油彩画を描き始める。
- 1950年 勤務していた熊本大学を退官後、制作を再開。面識のあった坂本善三を中心に「四元会」を発足させる。
- 1951年 財団法人杏仁会熊本内科病院院長となる。医師仲間と「杏美会」を結成。
- 1952年 海老原喜之助の知遇を得る。坂本善三、海老原喜之助の勧めで第20回独立展に《風景を配せる静物》を出品。以降、医業と並行し、本格的に絵画の道へと進み始める。
- 1961年 川口軌外、坂本善三らと訪ねた阿蘇で、抽象絵画へのヒントを得る。‘火山’シリーズを制作。
- 1966年 海老原の助言もあり、その後、より色彩を多用した‘虹’のシリーズに着手。
- 1969年 熊本日日新聞主催で個展開催(熊日ホール)
- 1971年 熊本県立美術館の開館に先立ち、熊本県美術家連盟創設。
- 1976年 熊本県立美術館開館。前年にはゴッホ美術館の友の会をモデルに、県立美術館友の会を発足。この頃より‘青’のシリーズ。
- 1977年 熊本市東部市民センターに壁画《東への道》《構成》を制作。
- 1978年 江田豊、坂本善三らと抽象画家のグループ「立の会」を結成。(～81年)
- 1981年 熊本市庁舎に壁画「城」2点を制作。
- 1988年 「熊本の現代作家Ⅱ」(熊本県立美術館)12点出品。
- 1990年 熊本県文化懇話会代表世話人・文化協会会長に就任。
- 1995年 「三浦洋一展」(熊本県立美術館)開催。
- 1997年 熊本市美術館建設検討委員会の委員長を務める。
- 2003年 「九州カー世界美術としての九州」(熊本市現代美術館)出品。
- 2012年 7月12日没、95歳。

日 時 2013年3月6日(水) — 5月6日(月・祝)

会 場 熊本市現代美術館ギャラリーⅢ(GⅢ) ※ギャラリーⅢ(G3)は、九州・熊本ゆかりのアーティストを応援するスペースです。

開館時間 10:00—20:00(入場無料)

休 館 日 火曜日

熊本市現代美術館 CAMK Contemporary Art Museum, Kumamoto

〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3 びぶれす熊日会館3階

TEL 096-278-7500 FAX 096-359-7892 HOMEPAGE <http://www.camk.or.jp>